

2021年12月10日

各 位

会社名 株式会社大和証券グループ本社  
代表者名 執行役社長 中田 誠司  
(コード番号 8601 東証・名証 (第1部))

本日、大和証券株式会社よりプレスリリース「国立大学法人東京大学発行ソーシャルボンド『第2回東京大学FSI債』の引き受けについて」を発表いたしましたので、ご報告申し上げます。

以 上

2021年12月10日

各 位

大和証券株式会社

## 国立大学法人東京大学発行ソーシャルボンド「第2回東京大学FSI債」の引き受けについて

このたび、大和証券株式会社は、国立大学法人東京大学（以下「東京大学」）が発行する、国立大学法人債である「第2回国立大学法人東京大学債券」（東京大学FSI債）（以下「当債券」）の引き受けにおいて事務主幹事を務め、本日、当債券の条件が決定されましたことをお知らせいたします。

東京大学は、国の高等教育政策を直接担う国立大学であり、世界最高水準の研究を追求・発信しています。当債券への投資資金はFSI（※1）事業に充当され、東京大学の行動方針である「UTokyo Compass」に示された、世界最高水準の教育・研究を目指す総合大学として、知の接続機能を持つ拠点としての役割を果たすための先端的研究施設設備の整備や、未来を築く卓越した人材を輩出し、全ての構成員が安心して活動できる多様性と包摂性を合わせ持った「誰もが来たくなる大学」にふさわしいキャンパス整備を通じて、より良い未来の創造のために活用されます。

当債券については、株式会社日本格付研究所（以下「JCR」）より、「JCR ソーシャルボンド・フレームワーク評価」の最上位評価である「Social 1（F）」の評価が付与されています。

（ご参考）JCR ホームページ「サステナブルファイナンス・ESG」：

<https://www.jcr.co.jp/greenfinance/>

（※1）FSI（Future Society Initiative:未来社会協創）とは、教育と研究に加えて、複雑化する社会課題の解決を新たなミッションと認識し、文理を超えた「知」を駆使して、より良い未来社会の構築に向けて協創すること

大和証券グループは、2018年にSDGs推進委員会を設置し、経営戦略の根底にSDGsの観点を取り入れると共に、持続可能な社会の実現に資する商品・サービスの提供に努めてまいりました。本年5月には、経営ビジョン“2030Vision”を策定・公表し、「貯蓄からSDGsへ」をコアコンセプトに、資金循環の仕組みづくりを通じたSDGsの実現を目指しています。

当債券の引き受けはそうした取組みの一環であり、今後も当社グループは、サステナブルで豊かな社会の創造に向けて貢献してまいります。

（ご参考）大和証券グループのSDGsに関する取組み：

[https://www.daiwa-grp.jp/sdgs/?cid=ad\\_eir\\_sdgspress](https://www.daiwa-grp.jp/sdgs/?cid=ad_eir_sdgspress)

■ 当債券の概要

債券の名称	第2回国立大学法人東京大学債券 (ソーシャルボンド、愛称「東京大学 FSI 債」)
年限	40年
発行額	100億円
利率	0.853%
発行価格	100円につき金100円
払込日	2021年12月22日
償還日	2061年3月18日
主幹事	大和証券株式会社(事務) 野村証券株式会社 みずほ証券株式会社
受託会社	株式会社三井住友銀行
債券格付	AA+ : R&I、AAA : JCR
ソーシャルボンド ・フレームワーク評価	Social 1(F) (JCR)

以上